

2017年度第1四半期  
決算説明資料

2017年8月3日

旭化成株式会社

## 1. 2017年度第1四半期実績

主要決算数値	P4
連結損益計算書	P5
特別損益	P6
連結貸借対照表	P7
連結キャッシュ・フロー計算書	P8
セグメント別売上高・営業利益	P9
事業別売上高・営業利益	P10～12

## 2. 2017年度上期予想

2017年度上期の業績予想	P14
事業別売上高予想	P15
事業別営業利益予想	P16
セグメント別売上高・営業利益予想	P17

## 3. 参考資料

連結包括利益計算書	P20
事業別概況	P21～30

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記の連結業績予想には、本資料の発表日現在の将来に関する前提や見通し、計画に基づく予想が含まれています。  
当該予想と実際の業績の間には、今後の様々な要因によって大きく差異が発生する可能性があります。

# 1. 2017年度第1四半期実績

# 主要決算数値

(億円)

	16年度		17年度		1Q実績比較 (対前年同期)	
	1Q	上期	1Q	上期 前回予想*1	増減額	増減率
売上高	4,258	8,907	4,487	9,500	229	5.4%
営業利益	299	708	379	715	80	26.7%
経常利益	283	699	412	735	129	45.7%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	241	529	301	490	60	24.8%

## <前提>

ナフサ価格(国産ナフサ:¥/kl)	31,600	31,450	39,100	41,000
為替レート(相場平均)				
¥/USドル	108	105	111	110
¥/ユーロ	122	118	122	120

	17/3月末	17/6月末	増減
総資産	22,545	22,566	21
自己資本	11,513	11,701	188
有利子負債残高	4,028	4,123	94
D/Eレシオ	0.35	0.35	0.00

\*1 2017年5月時点の予想

# 連結損益計算書

AsahiKASEI

(億円)

(%は売上高比率)	16年度1Q	17年度1Q	増減	増減率
売上高	100.0% 4,258	100.0% 4,487	229	5.4%
売上原価	68.4% 2,913	67.3% 3,021	109	3.7%
売上総利益	31.6% 1,346	32.7% 1,466	121	9.0%
販管費	24.6% 1,047	24.2% 1,087	41	3.9%
営業利益	7.0% 299	8.4% 379	80	26.7%
営業外損益	-16	33	49	
(内、金融収支)	(13)	(13)	(1)	
(内、持分法投資損益)	(-1)	(26)	(27)	
(内、為替差損)	(-25)	(-5)	(20)	
経常利益	6.6% 283	9.2% 412	129	45.7%
特別損益	21	44	23	
税前利益	7.1% 304	10.2% 456	152	50.1%
法人税等	-59	-150	-91	
非支配株主に帰属する 四半期純利益	-4	-5	-2	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	5.7% 241	6.7% 301	60	24.8%

# 特別損益

(億円)

	16年度1Q	17年度1Q	増減
投資有価証券売却益	39	55	17
固定資産売却益	0	4	4
特別利益	39	59	21
投資有価証券評価損	-	0	0
固定資産処分損	7	7	-0
減損損失	0	5	5
事業構造改善費用	5	4	-1
統合関連費用	6	-	-6
特別損失	18	16	-2
特別損益	21	44	23

# 連結貸借対照表

(億円)

	17/3月末	17/6月末	増減		17/3月末	17/6月末	増減
流動資産	8,945	8,949	4	負債	10,864	10,694	-170
現金及び預金	1,453	1,533	80	流動負債	5,949	5,846	-103
受取手形及び売掛金	3,028	2,848	-180	固定負債	4,915	4,848	-67
棚卸資産	3,467	3,592	125	純資産	11,681	11,872	191
その他	998	977	-22	株主資本	10,301	10,409	108
固定資産	13,600	13,617	17	資本金	1,034	1,034	-
有形固定資産	5,569	5,586	17	資本剰余金	794	794	-0
無形固定資産	4,628	4,539	-89	利益剰余金	8,505	8,613	108
投資その他の資産	3,403	3,492	89	自己株式	-32	-33	-0
				その他の包括利益累計額	1,212	1,292	80
				非支配株主持分	168	171	3
資産合計	22,545	22,566	21	負債純資産合計	22,545	22,566	21

# 連結キャッシュ・フロー計算書

AsahiKASEI

(億円)

	16年度1Q	17年度1Q
営業活動によるキャッシュ・フロー①	335	370
投資活動によるキャッシュ・フロー②	-226	-249
フリー・キャッシュ・フロー③(①+②)	108	121
財務活動によるキャッシュ・フロー④	-108	-99
現金及び現金同等物に係る換算差額⑤	-99	56
現金及び現金同等物の増減額⑥(③+④+⑤)	-99	77

現金及び現金同等物の期首残高⑦	1,453	1,441
連結の範囲の変更に伴う増加額⑧	3	3
現金及び現金同等物の期末残高(⑥+⑦+⑧)	1,357	1,521

# セグメント別売上高・営業利益

(億円)

	売上高			営業利益		
	16年度1Q	17年度1Q	増減	16年度1Q	17年度1Q	増減
マテリアル <sup>*1</sup>	2,301	2,468	167	178	280	102
住宅	1,261	1,283	22	85	76	-10
ヘルスケア	667	701	33	96	90	-6
その他 <sup>*1</sup>	29	36	6	2	0	-2
消去又は全社	-	-	-	-63	-68	-5
合計	4,258	4,487	229	299	379	80

\*1 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「マテリアル」セグメントに移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

# 事業別売上高・営業利益\*1

(億円)

	売上高			営業利益		
	16年度1Q	17年度1Q	増減	16年度1Q	17年度1Q	増減
繊維	309	320	11	33	35	2
ケミカル*2	1,670	1,783	114	147	225	79
エレクトロニクス	322	365	43	-1	20	22
住宅	1,157	1,156	-1	78	69	-8
建材	103	126	23	9	7	-1
医薬・医療	345	327	-18	68	53	-15
クリティカルケア	322	373	51	28	37	9
その他*2	29	36	6	2	0	-2
消去又は全社	-	-	-	-64	-69	-5
合計	4,258	4,487	229	299	379	80

\*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

\*2 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

# 事業別売上高・営業利益\*1増減要因(1)

(億円)

		16年度1Q	17年度1Q	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
繊維	売上高	309	320	11	13	-3	-0	1	-
	営業利益	33	35	2	10			-	-6
ケミカル*2	売上高	1,670	1,783	114	-28	145	9	-4	-
	営業利益	147	225	79	25			-	-91
エレクトロニクス	売上高	322	365	43	43	-5	3	5	-
	営業利益	-1	20	22	18			-	9
住宅	売上高	1,157	1,156	-1	-13	-3	-	15	-
	営業利益	78	69	-8	3			-	-8
建材	売上高	103	126	23	15	-1	-	9	-
	営業利益	9	7	-1	5			-	-6

\*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

\*2 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

# 事業別売上高・営業利益\*1増減要因(2)

(億円)

		16年度1Q	17年度1Q	増減	内訳				
					数量差	売値差	うち為替因	その他差	コスト差等
医薬・医療	売上高	345	327	-18	-18	-0	0	0	-
	営業利益	68	53	-15	-13			-	-2
クリティカルケア	売上高	322	373	51	41	1	-2	10	-
	営業利益	28	37	9	23			-	-15
その他*2	売上高	29	36	6	6	-	-	-	-
	営業利益	2	0	-2	-1			-	-0
消去又は全社	営業損失	-64	-69	-5	-	-	-	-	-5
合計	売上高	4,258	4,487	229	59	134	11	36	-
	営業利益	299	379	80	70			-	-124

\*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

\*2 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

## 2. 2017年度上期予想

# 2017年度上期の業績予想

(億円)

	16年度			17年度上期予想			増減 b-a	17年度上期 当初予想*1 c	増減 b-c
	上期 a	下期	計	1Q	2Q 予想	計 b			
売上高	8,907	9,923	18,830	4,487	5,083	9,570	663	9,500	70
営業利益	708	885	1,592	379	421	800	92	715	85
経常利益	699	908	1,606	412	428	840	141	735	105
親会社株主に帰属する 当期純利益	529	621	1,150	301	299	600	71	490	110

## <前提>

ナフサ価格(国産ナフサ:¥/kl)	31,450	37,900	34,675	39,100	35,000	37,050	5,600	41,000	-3,950
為替レート(相場平均)									
¥/USドル	105	112	108	111	110	111	5	110	1
¥/ユーロ	118	119	119	122	130	126	8	120	6

	16年度	17年度 上期
1株当たり配当金	24円	12円 (予定)

\*1 2017年5月時点の予想

# 事業別売上高予想

(億円)

	16年度			17年度			増減 b-a	17年度上期 当初予想*1 c	増減 b-c	(参考) 17年度 2Q-1Q 増減
	1Q	2Q	上期 a	1Q	2Q 予想	上期 予想 b				
繊維	309	314	623	320	340	660	37	660	-	20
ケミカル*2	1,670	1,679	3,348	1,783	1,897	3,680	332	3,610	70	113
エレクトロニクス	322	347	669	365	395	760	91	770	-10	30
住宅	1,157	1,491	2,648	1,156	1,544	2,700	52	2,700	-	387
建材	103	123	226	126	134	260	34	260	-	8
医薬・医療	345	333	678	327	343	670	-8	670	-	15
クリティカルケア	322	323	645	373	387	760	115	740	20	13
その他*2	29	41	70	36	44	80	10	90	-10	8
合計	4,258	4,649	8,907	4,487	5,083	9,570	663	9,500	70	595

\*1 2017年5月時点の予想

\*2 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

# 事業別営業利益\*1 予想

(億円)

	16年度			17年度			増減 b-a	17年度上期 当初予想*2 c	増減 b-c	(参考) 17年度 2Q-1Q 増減
	1Q	2Q	上期 a	1Q	2Q 予想	上期 予想 b				
繊維	33	27	60	35	25	60	0	60	-	-10
ケミカル*3	147	186	333	225	205	430	97	355	75	-21
エレクトロニクス	-1	-2	-3	20	10	30	33	30	-	-10
住宅	78	168	246	69	156	225	-21	215	10	86
建材	9	10	18	7	8	15	-3	15	-	0
医薬・医療	68	40	107	53	37	90	-17	90	-	-16
クリティカルケア	28	40	68	37	43	80	12	75	5	6
その他*3	2	7	9	0	10	10	1	10	-	10
消去又は全社	-64	-66	-130	-69	-71	-140	-10	-135	-5	-3
合計	299	409	708	379	421	800	92	715	85	43

\*1 セグメント別の営業利益は各セグメント内の事業間取引の消去を含んでいるため、事業別の営業利益を単純合算した数字とは一致しない。

\*2 2017年5月時点の予想

\*3 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。

# セグメント別売上高・営業利益上期予想

## <売上高>

(億円)

	16年度		17年度		1Q 実績比較	上期比較 b-a
	1Q	上期 a	1Q	上期 今回予想 b		
マテリアル <sup>*1</sup>	2,301	4,640	2,468	5,100	167	460
住宅	1,261	2,875	1,283	2,960	22	85
ヘルスケア	667	1,323	701	1,430	33	107
その他 <sup>*1</sup>	29	70	36	80	6	10
合計	4,258	8,907	4,487	9,570	229	663

## <営業利益>

(億円)

	16年度		17年度		1Q 実績比較	上期比較 b-a
	1Q	上期 a	1Q	上期 今回予想 b		
マテリアル <sup>*1</sup>	178	389	280	520	102	131
住宅	85	265	76	240	-10	-25
ヘルスケア	96	176	90	170	-6	-6
その他 <sup>*1</sup>	2	9	0	10	-2	1
消去又は全社	-63	-131	-68	-140	-5	-9
合計	299	708	379	800	80	92

\*1 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「マテリアル」セグメントに移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて表示している。



## 3. 参考資料

# 連結包括利益計算書

AsahiKASEI

(億円)

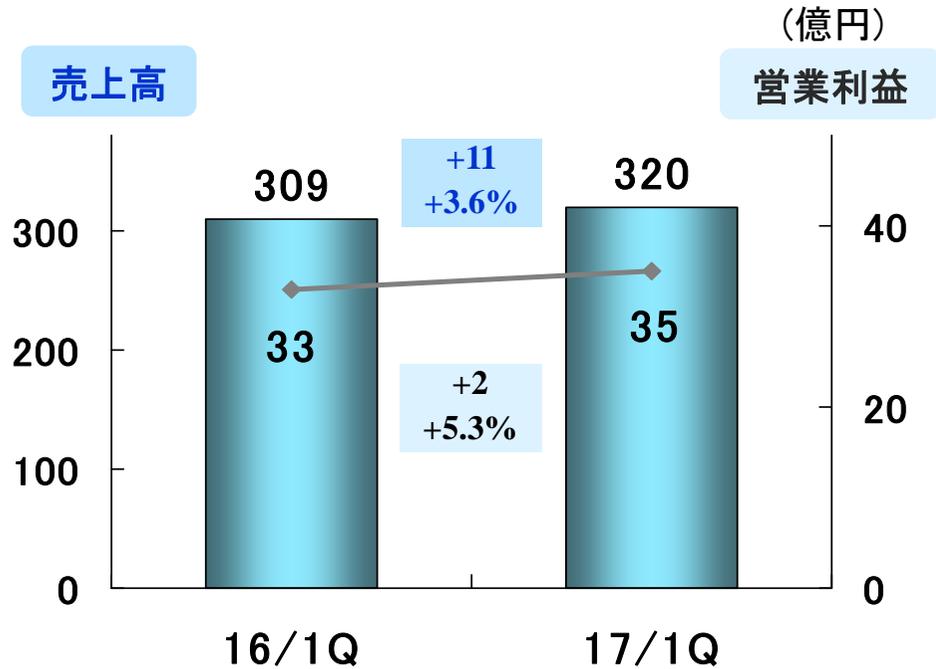
	16年度1Q	17年度1Q	増減
四半期純利益①	245	306	61
その他有価証券評価差額金	-126	21	146
繰延ヘッジ損益	-2	-1	1
為替換算調整勘定	-558	43	600
退職給付に係る調整額	25	21	-4
持分法適用会社に対する持分相当額	-18	0	18
その他の包括利益合計②	-678	84	762
四半期包括利益(①+②)	-433	390	823

(内訳)

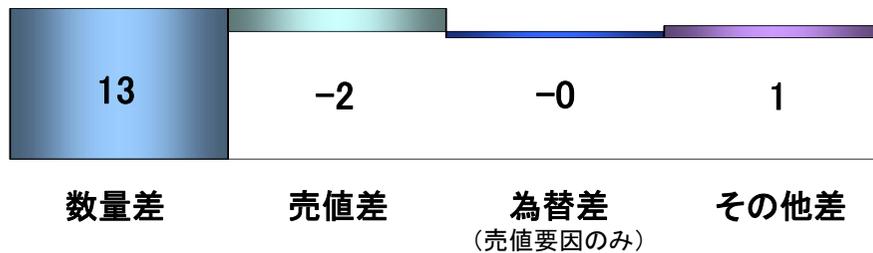
親会社株主に係る四半期包括利益	-431	381	812
非支配株主に係る四半期包括利益	-3	9	12

## <概況>

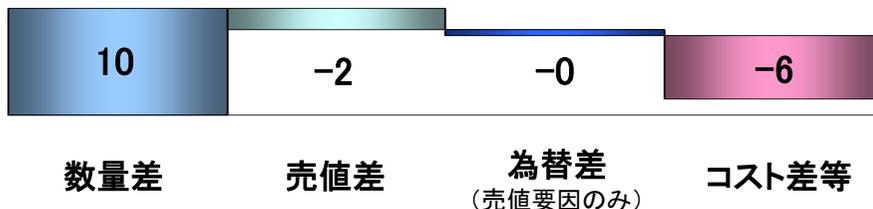
原燃料価格高騰の影響を受けたが、キュプラ不織布「ベンリーゼ」やマイクロファイバースエード「ラムース」の販売数量が増加したことなどから、前年同期比増収、微増益となった。



### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析





## <概況>

### ・石油化学事業

エチレンセンター(三菱ケミカル旭化成エチレン株)の定期修理の影響を受けたが、アクリロニトリルにおいて交易条件が改善したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

### ・高機能ポリマー事業

エンジニアリング樹脂の販売が順調に推移したことや、合成ゴムにおいて交易条件が改善したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

### ・高機能マテリアルズ事業・消費財事業

イオン交換膜や電子材料製品、「サランラップ」などの販売数量が増加したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

## <トピックス>

- ・シンガポールにおいて低燃費タイヤ向け溶液重合法スチレンブタジエンゴム(S-SBR)の生産能力増強を決定。(7月)

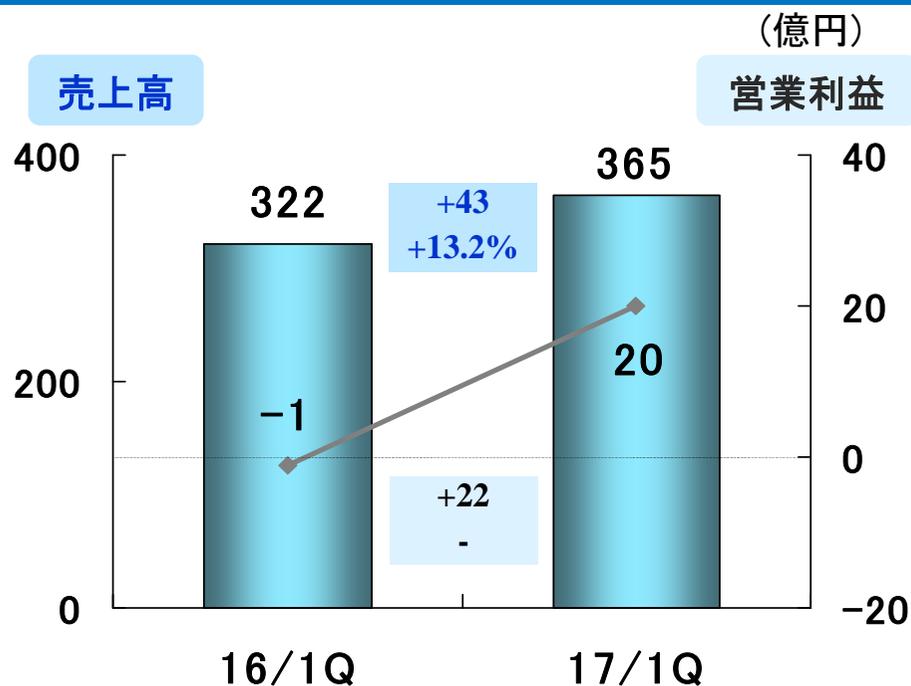
### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析



\*1 2017年度より従来「その他」に含めて開示していたエネルギー関連部門を「ケミカル」事業に移管したことに伴い、2016年度の数値を組替えて比較している。



## <概況>

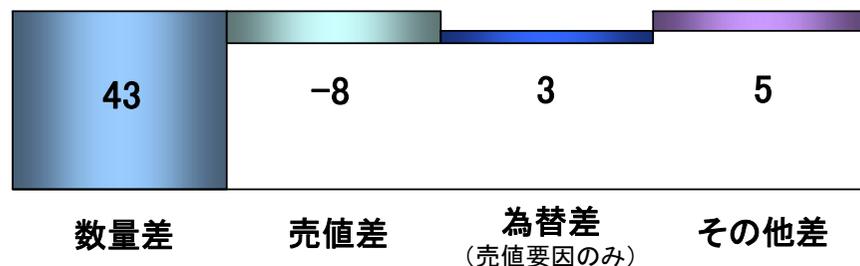
### ・セパレータ事業

リチウムイオン二次電池用セパレータ「ハイポア」を中心に各製品の販売数量が増加したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

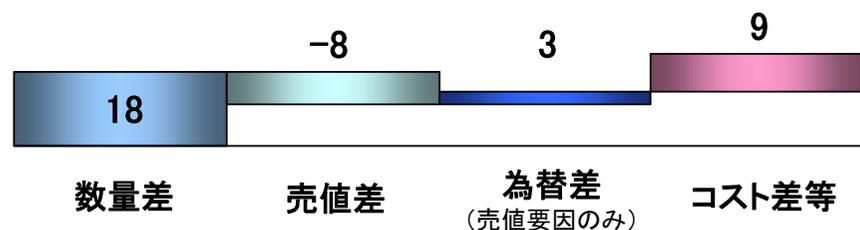
### ・電子部品事業

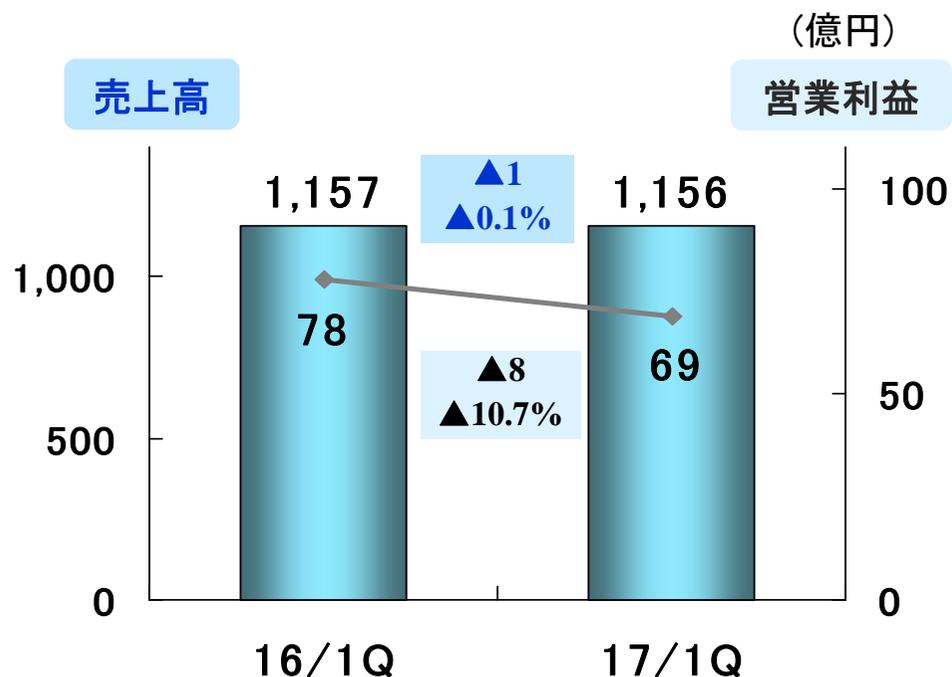
カメラモジュール用電子部品や家電向け磁気センサなどの販売が順調に推移したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

### 売上高増減分析



### 営業利益増減分析





## 事業別増減分析

	16年度1Q		17年度1Q		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
建築請負部門 (旭化成ホームズ)	758	37	723	24	▲35	▲12
不動産部門 (旭化成不動産レジデンス)	269		305		36	
リフォーム部門 (旭化成リフォーム)	126	41	125	45	▲1	4
その他住宅周辺事業等	5		4		▲1	
合計	1,157	78	1,156	69	▲1	▲8

## <概況>

### ・建築請負部門

- ・集合住宅「ヘーベルメゾン」の引渡棟数が減少し、労務費などの販管費が増加したことなどから、前年同期比減収、減益となった。
- ・建築請負部門の受注高は、賃貸住宅などの需要が堅調に推移したことから集合住宅の受注が増加したものの、戸建住宅の受注が低調に推移したことから、前年同期比5.0%の受注減となった。

### ・不動産部門、リフォーム部門等

不動産部門の賃貸管理事業やリフォーム部門の外壁塗装工事の受注などが順調に推移したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

## <トピックス>

- ・2階建て戸建住宅の主力製品である「ヘーベルハウス キュービック」の新モデル「HEBEL HAUS CUBIC roomy(ヘーベルハウス キュービック ルーミー)」を発売。(6月)

# 住宅／売上高、受注高の状況

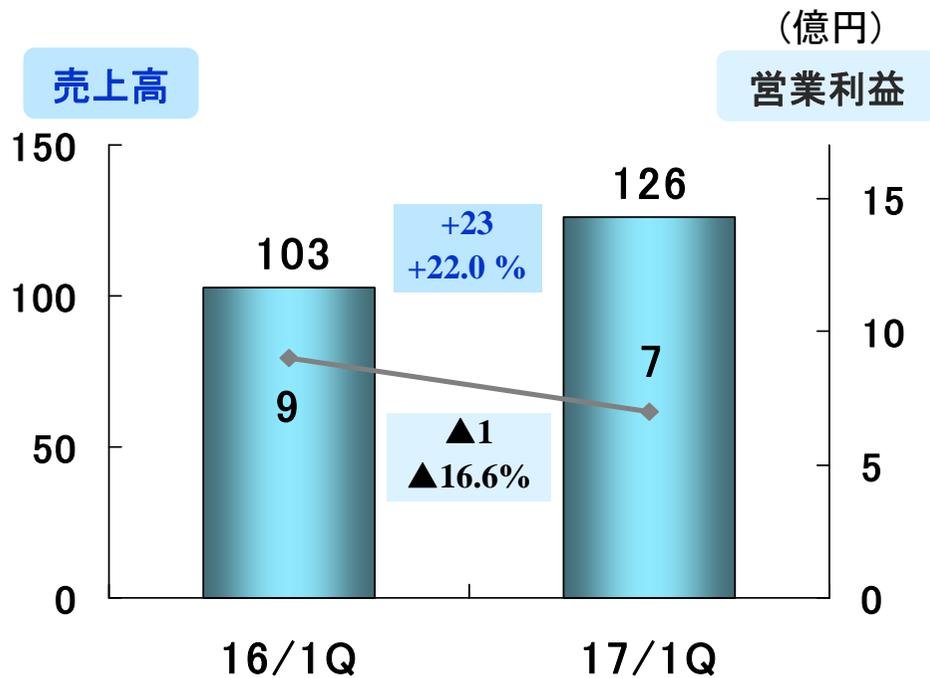
(単位:億円、( )内は対前年同期比)

		請負受注高	建築請負 部門売上高*1	不動産 部門売上高*1				リフォーム 部門売上高	他	連結計	受注残
				分譲	賃貸	他	合計				
13	上期	2,519 (21.4%)	1,810 (12.1%)	45	262	14	321	245	8	2,384 (11.9%)	5,199
	下期	1,694 (▲17.3%)	2,131 (3.5%)	248	279	11	537	281	11	2,960 (8.4%)	4,815
	通期	4,213 (2.2%)	3,941 (7.3%)	293	541	25	858	526	19	5,344 (9.9%)	
14	上期	2,176 (▲13.6%)	1,879 (3.9%)	98	293	14	406	263	11	2,560 (7.4%)	5,163
	下期	2,080 (22.8%)	2,162 (1.5%)	180	318	16	514	273	9	2,958 (▲0.1%)	5,145
	通期	4,257 (1.0%)	4,042 (2.6%)	278	611	31	920	536	20	5,518 (3.3%)	
15	上期	2,173 (▲0.2%)	1,838 (▲2.2%)	104	335	17	456	278	9	2,580 (0.8%)	5,546
	下期	1,831 (▲12.0%)	2,277 (5.3%)	277	390	18	684	281	7	3,250 (9.9%)	5,131
	通期	4,004 (▲5.9%)	4,115 (1.8%)	381	725	35	1,141	559	16	5,830 (5.7%)	
16	1Q	965 (▲9.7%)	758 (7.4%)	57	204	8	269	126	5	1,157 (5.3%)	5,349
	2Q	1,101 (▲0.3%)	1,077 (▲4.8%)	61	208	11	280	145	▲11	1,491 (0.7%)	5,388
	上期	2,066 (▲4.9%)	1,835 (▲0.1%)	118	412	18	548	270	▲5	2,648 (2.6%)	
	下期	1,943 (6.1%)	2,208 (▲3.1%)	95	435	16	546	291	8	3,053 (▲6.1%)	5,158
	通期	4,009 (0.1%)	4,043 (▲1.8%)	213	847	34	1,094	561	4	5,702 (▲2.2%)	
17	1Q	916 (▲5.0%)	723 (▲4.6%)	73	224	7	305	125	4	1,156 (▲0.1%)	5,363
	2Q予	1,238 (12.5%)	1,097 (1.9%)	56	228	9	292	146	8	1,544 (3.5%)	5,519
	上期予	2,155 (4.3%)	1,820 (▲0.8%)	128	452	16	597	271	12	2,700 (1.9%)	

\*1 2015年度下期より「建築請負部門」に算入されていた旭化成ホームズの賃貸管理事業を「不動産部門」に移管し、移管後の数値で記載している。

## <概況>

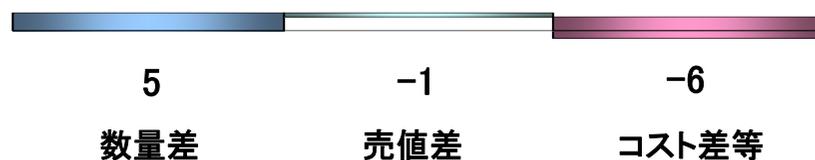
フェノールフォーム断熱材「ネオマフォーム」の販売が順調に推移したものの、原燃料価格高騰の影響を受けたことなどから、前年同期比売上高は増収、営業利益は前年並みとなった。

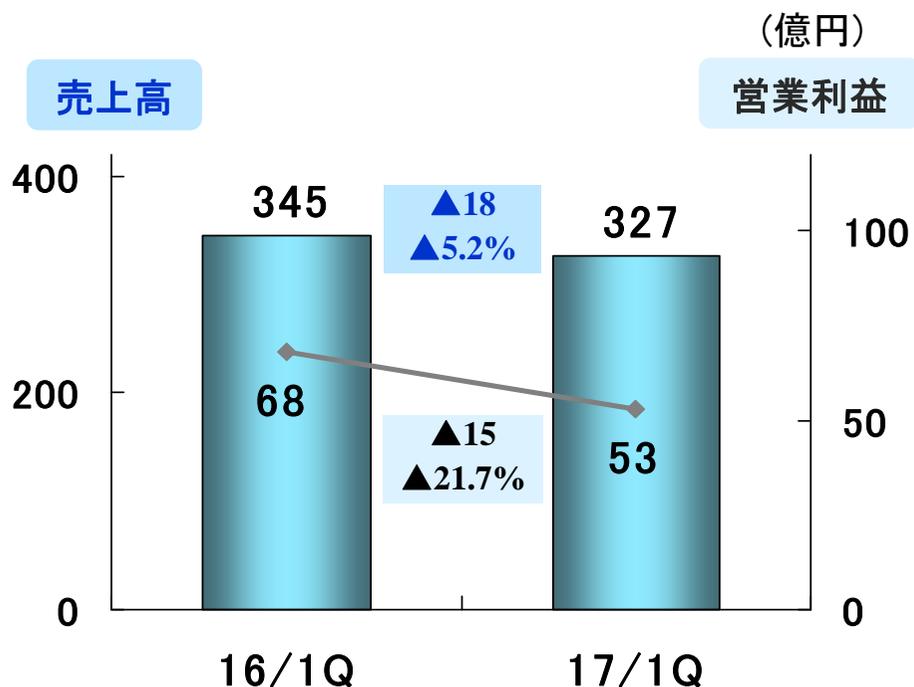


### 売上高増減分析

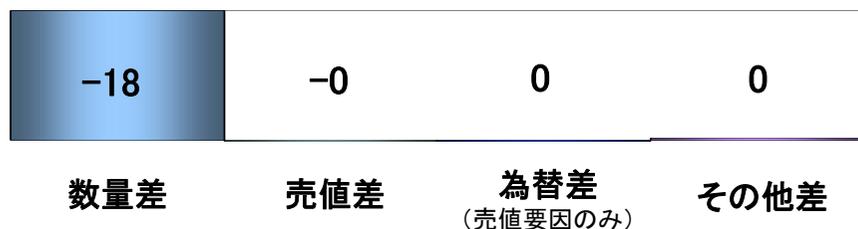


### 営業利益増減分析

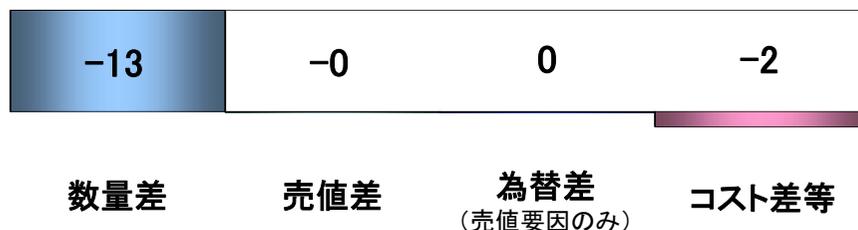




## 売上高増減分析



## 営業利益増減分析



## <概況>

### ・医薬事業

骨粗鬆症治療剤「テリボン」などの販売数量が増加したが、排尿障害改善剤「フリバス」が後発医薬品の影響を受けたことなどから、前年同期比減収、減益となった。

### ・医療事業

ウイルス除去フィルター「プラノバ」や透析関連製品の販売数量が減少したことなどから、前年同期比減収、減益となった。

## <トピックス>

- ・「テリボン 皮下注用56.5  $\mu$ g」の投与期間の上限延長承認取得。(5月)
- ・「フリバス」の中国における輸入薬品登録を申請。(6月)

(億円)

		16年度		17年度
		1Q	上期	1Q
医薬事業	国内医薬	160	312	156
	その他	13	34	12
	計	173	347	168
医療事業		172	331	159
医薬・医療 計		345	678	327

<主要医薬品の国内売上高>

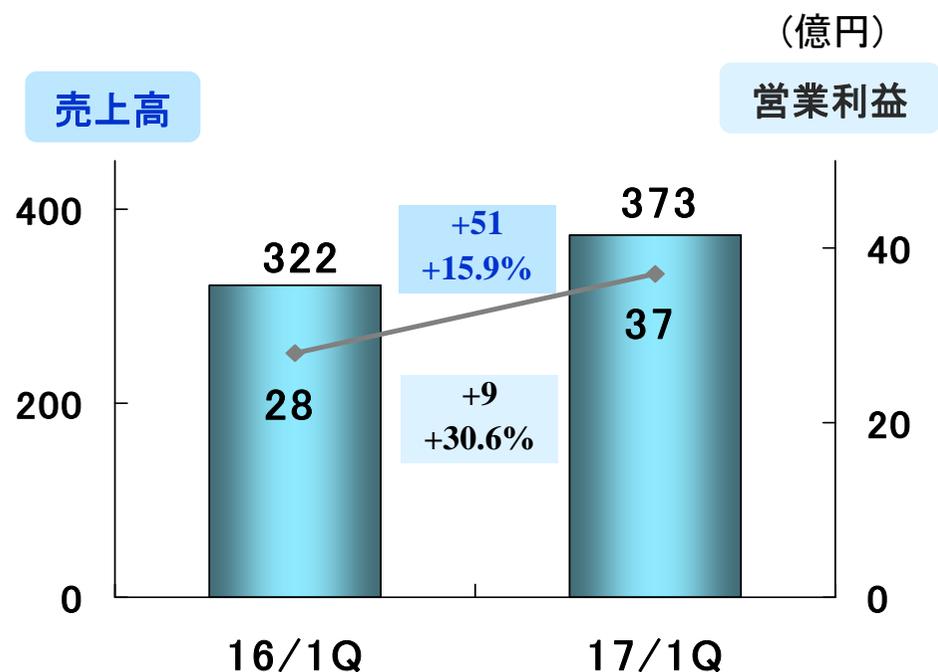
(億円)

	16年度		17年度
	1Q	上期	1Q
テリボン	60	120	66
リコモジュリン	30	63	28
フリバス	17	31	13
エルシトニン	12	23	10
ブレディニン	12	22	10

		開発コード・剤型 (一般名)	区 分	薬 効・分 類	適 応 症	自社/導入	備考
国 内	フェーズⅢの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新効能医薬品	血液凝固阻止剤	特発性肺線維症の 急性増悪	自社	
		MN-10-T AI注 (テリパラチド酢酸塩)	新剤形・新用量 医薬品	骨粗鬆症治療剤	骨折の危険性の 高い骨粗鬆症	自社	
	フェーズⅡの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新効能医薬品	血液凝固阻止剤	化学療法誘発性 末梢神経障害	自社	
海 外	フェーズⅢの品目	ART-123注 (トロンボモデュリン アルファ (遺伝子組換え))	新薬	血液凝固阻止剤	凝固異常を伴う 重症敗血症	自社	
		HE-69 (ミゾリビン)	適応拡大	免疫抑制剤	ループス腎炎 ネフローゼ症候群	自社	

## 探索・基礎研究

成熟化・高齢化社会の中で、健康で快適な生活を送りたいという人びとの願いに応えるために、整形外科や救急・集中治療などの領域を中心に「未だ有効な治療方法がない医療ニーズ(アンメットメディカルニーズ)」の解決に取り組んでいます。自社技術の絶えざる革新と、世界の優れた技術とのコラボレーションを積極的に推進し、世界に通用する新薬の創出を進めています。



## <概況>

医療機関向け除細動器の販売数量が増加し、着用型自動除細動器「LifeVest」の業績が堅調に推移したことなどから、前年同期比増収、増益となった。

## <参考:クリティカルケア事業業績推移(USDベース)>

(百万USD)

	16年度				17年度		1Q 実績比較
	1Q	上期	下期	年間	1Q	上期 予想	
売上高(連結)	297	612	644	1,256	336	684	39
事業利益	56	126	133	259	64	135	7
のれん償却額	-19	-37	-38	-75	-19	-38	-0
無形固定資産償却額等	-12	-24	-24	-47	-12	-23	0
償却額合計	-30	-61	-61	-122	-31	-61	-0
営業利益(連結)	26	65	72	136	33	74	7